

公益社団法人 日本臨床細胞学会
平成 26 年度 (2014 年度) 第 4 回理事会議事録

日 時：平成 27 年 3 月 7 日 (土) 17 時 30 分～19 時 30 分

場 所：日本臨床細胞学会事務局会議室 (地下 2 階)

役員総数： 39 名 (理事 39 名, 監事 3 名)

出席者： 理事 26 名, 監事 1 名

(理事長) 佐々木寛

(理事) 青木大輔, 石井保吉, 伊藤潔, 伊藤仁, 稲山嘉明, 岩坂剛, 植田政嗣, 岡本愛光,
加来恒壽, 覚道健一, 方山揚誠, 河原栄, 川本雅司, 紀川純三, 越川卓, 児玉省二,
佐藤之俊, 竹島信宏, 関根浄治, 中村直哉, 根本則道, 広岡保明, 森谷卓也, 横山繁生,
若狭研一

(監事) 長谷川壽彦

(総務幹事) 板持広明, 大澤政彦, 加藤久盛, 渋谷秀美, 星利良, 山下博

(制度審議委員会陪席) 北村隆司, 平田哲士

(会計士) 中田ちず子

欠席者： 理事 13 名, 監事 2 名

(理事) 池田徳彦, 落合和彦, 亀井敏昭, 是松元子, 齋藤豪, 寒河江悟, 生水真紀夫,
白石泰三, 鈴木光明, 土屋眞一, 内藤善哉, 羽場礼次, 八重樫伸生

(監事) 長村義之, 柏村正道

(総務幹事) 土居大祐, 服部学

議長選出の議：本学会定款第 33 条に則り, 佐藤之俊総務委員長が議長となった。

議長 佐藤之俊総務委員長は定款第 34 条に則って, 理事総数の過半数 (27 名)

の出席により定足数を満たしたので本法人の理事会が成立した旨を述べた。

議事録署名人選出：定款 35 条に則り, 議事録署名人は理事長並びに監事 3 名とすることが
確認された。

理事長挨拶：佐々木 寛

議事録案確認 (平成 26 年度第 2 回理事会)：前理事会の議事録案が確認された。

1. 理事長報告：佐々木 寛

1) 専門医機構における細胞診専門医の状況について

細胞診専門医は日本専門医機構から次に認可される一群に入っている。細胞診専門医が新しい専門医として認可してもらうためには、日本専門医機構が示している形に変換する必要があり、細胞診専門医委員会 植田委員長が提案する細胞診専門医制度の改定に対して皆様のご協力・ご指示を頂きたい。

2) 日本学術会議の会員登録について

日本臨床細胞学会は NPO 法人時に日本学術会議の会員であったが、公益社団法人となった段階で会員手続きが遅れており、現在は日本学術会議の会員になっていない状況であるとの報告があった。このため、早急に対応し、提出資料の訂正を行えば新規会員としての審議をしてもらえることとなった。手続きが終了するまで半年以上かかるが、その方向性で日本学術会議の会員登録を行う方針である。

3) 研究施設機関の申請について

本学会が文部科学省から科学研究費を申請出来る団体となるために、昨年度から文部科学省に研究施設機関の申請を行ってきた。4月中に申請資料の訂正を行い再提出すれば認められる方向性が高く、6月の社員総会にて報告できることを期待する。

2. 審議事項および議決結果

審議事項

- 1) 平成 27 年度予算案について
- 2) 平成 27 年度資金調達および設備投資の見込みについて
- 3) 平成 27 年度事業計画案について
- 4) 日本臨床細胞学会事務局の会議室の使用時間について

議事の経過の概要および議決結果

1) 平成 27 年度予算案について

計理委員会より平成 27 年度予算案が提示され、詳細に審議した結果、全員異議なくこれを承認した。

2) 平成 27 年度資金調達および設備投資の見込みについて

計理委員会より平成 27 年度において資金調達については借り入れの予定は無く、設備投資についてはマイページのプログラム作成費用として 510 万円の支出予定があることが報告され、全員異議なくこれを承認した。

3) 平成 27 年度事業計画案について

平成 27 年度の事業計画案が報告され、詳細に審議した結果、全員異議なくこれを承認した。

4) 日本臨床細胞学会事務局の会議室の使用時間について

事務局員の時間外勤務を軽減するため、各委員会等にて会議室を使用する場合、その時間を 21 時までとすることが提案され、承認された。

4. 各種委員会での議事の経過概要および議決結果

総務委員会（委員長 佐藤之俊）

〔事業計画〕

1. 常務理事会，理事会，および総会の運営実務.

〔審議事項〕

1. 理事長選挙について

施行細則に則り理事長候補の選出を行う旨，3月20日までに立候補者を募ることが報告され，資料に沿って理事長立候補の申請要領が確認された.

2. 会費請求の時期について

本学会会員は，3月31日までに会費を全納する規定がある. 今回は，事前告知が出来なかったが，評議員の選出等に重要であるため，来年度から事前告知を行い規定どおりの会費納入を徹底させることが確認された.

情報処理委員会（委員長 石井保吉）

〔事業計画〕

1. 学会ホームページを見やすくする，会員管理を徹底する目的で，ホームページの改修を計画，実行する.

〔審議事項〕

1. 学会ホームページの改修が平成27年6月の総会時の使用可能を目途に進行中であることが報告された. 資料に沿って，ホームページ改修の仕様と見積もりについての報告があり，承認された.

医療安全委員会（委員長 森谷卓也）

〔事業計画〕

1. 医療安全セミナーの開催

第56回総会および第54回秋季大会において医療安全セミナーを開催する. 第56回総会では「施設における細胞診の医療安全対策」を行う. 倫理委員会との共催も今後検討していきたい.

2. MSC ホットラインを継続する. 利用実績が乏しいので周知を図るよう努力する.

〔審議事項〕

特になし

倫理委員会（委員長 中村直哉）

〔事業計画〕

1. 倫理に係る委員会を開催予定.
2. 倫理にかかわる教育セミナーを総会で開催（医療安全との共同開催）.

〔審議事項〕

1. 臨床試験審査小委員会の設立について

資料に沿って、臨床試験審査小委員会の設立案が提示され、詳細な審議の結果、倫理委員会の直轄下として設立することが承認された。

利益相反委員会（委員長 岡本愛光）

〔事業計画〕

1. 平成 27 年度の COI 自己申告書の確認と COI 状況の把握、深刻な COI 発生の際の対処。
2. COI を行った(不申告者)に対する罰則の規定の検討。
3. 会員への COI に関する啓蒙活動。

〔審議事項〕

特になし

学術委員会（委員長 紀川 純三）

〔事業計画〕

1. 学会賞・技師賞・班研究課題および最優秀論文賞の公募と選考：
公募についてイエローページ、ホームページに公示（応募締切：平成 27 年 2 月 15 日）。
英文 2 編が現在選考中である。

〔審議事項〕

1. 科学研究費助成事業施行細則案を学術委員会に一任して3月中に作成することが承認された。

計理委員会（委員長代理 佐々木理事長）

〔事業計画〕

1. 平成 27 年度日本臨床細胞学会予算の作成と承認。

〔審議事項〕

1. 中田会計士より資料に沿って平成 27 年度予算案について説明があり、内容を確認・審議し、承認された。

編集委員会（委員長 竹島信宏）

〔事業計画〕

1. 電子ジャーナルとして Vol. 54 (No1-6) の発行。
2. 紙媒体の希望者には実費で冊子を配布する予定。

〔審議事項〕

1. 紙雑誌希望者の購読料金について
資料に沿って、紙雑誌希望者の購読料金案が提示され、承認された。

細胞診専門医委員会（委員長 植田政嗣）

〔事業計画〕

1. 平成 27 年度細胞診専門医資格認定試験
平成 27 年 11 月 29 日（日）に「AP 浜松町」で施行予定。筆記試験問題 25 問，細胞像試験（カラープリント）問題 25 問の 50 問（50 点）とガラス鏡検問題 50 点の合計 100 点。医師は全て総合科に統一。歯科医師はガラス鏡検問題のみ歯科口腔領域を選択。
2. 平成 27 年度細胞診専門医資格更新
平成 27 年度細胞診専門医資格更新対象者ナンバーは 0684-0773, 1102-1170, 1387-1446, 1647-1710, 2029-2159, 2477-2577, 2850-2961。細胞診専門医会出席義務廃止，クレジット重視，本法人学術集会（春期・秋期）2 回以上出席要。
3. 施設認定制度の適正運用検討小委員会
教育研修指導医認定の実務、施設認定・教育研修施設認定業務の円滑化。

〔審議事項〕

1. 日本専門医機構と細胞診専門医制度
資料に沿って，更新には規定の単位項目を 5 年間で合計 50 単位を取得することが必要とする日本専門医機構の示す形に合わせた改定案が提示され，承認された。また，日本専門医機構の示す，2024 年に全会員が新制度に移行出来るように，新専門医認定・更新モデル案が提示され，2020 年から新基準での資格更新を実施すること，2015 年度中に施行細則の変更を理事会決定し，周知しなければならないことが報告され，承認された。
2. 婦人科細胞診専門医とコルポスコピー
元理事より植田委員長にコルポスコピーは細胞診専門医である婦人科医には必須の技能であることを明記して欲しいとの申し入れがあったとのことであった。現在細胞診専門医は，診療科の区別無く教育および認定を行っている現状を鑑み，細胞診の研修カリキュラムにおいて検体採取技能の一つとして婦人科領域ではコルポスコピー検査が重要であることが確認された。

施設認定制度委員会（委員長代理 佐藤総務委員長）

〔事業計画〕

1. 2014 年度年報提出（締切 平成 27 年 3 月 31 日）。
2. 2014 年度教育研修施設年報提出（締切 平成 27 年 5 月 31 日）。
3. 2014 年度認定施設更新作業。
4. 2014 年度教教育研修施設更新作業。
5. 2015 年度新規認定施設募集。
6. 2015 年度新規教育研修施設募集。
7. 2015 年度実施調査は，内部精度管理ワーキンググループのもとで，2015 年 8 月～9 月

を目途に実施予定。

- 2015年～2016年での外部精度管理（コントロールサーベイ）は外部精度管理ワーキンググループの下で、2016年秋に実施予定。

〔審議事項〕

特になし

細胞検査士委員会（委員長 越川卓）

〔事業計画〕

- 2015年CT(IAC)資格認定試験
平成27年6月28日(日)にAP浜松町において実施する。
- 平成27年度（第48回）細胞検査士資格認定試験
1次試験は平成27年10月31日(土)にCIVI新大阪東研修センターにおいて実施する。
2次試験は平成27年12月12・13日(土・日)に東京富士大学において実施する。
- 2016年CT(IAC)資格更新審査
2015年12月に更新期限を迎えるCT(IAC)を対象として資格更新審査を実施する。

〔審議事項〕

- 細胞検査士の学会参加登録方法の変更
資料に沿って細胞検査士の学会参加登録方法の変更案が提示され、承認された。

細胞検査士資格更新審査委員会（委員長 広岡保明）

〔事業計画〕

- 平成27年度 細胞検査士資格更新対象者メンバー（ピンク・カード）
1830～2067, 2693～2912, 3667～3931, 4726～4941, 5619～5812, 6370～6573,
7209～7449, 8159～8317
更新予定者：1523名
※平成28年2～3月に更新審査予定
※震災に遭った方は自己申告での申請も可能とし、できる限り救済する

〔審議事項〕

- 細胞診専門医の資格更新期間の4年から5年への移行に合わせて、細胞検査士の資格更新期間を5年にするかを細胞検査士委員会にて検討し、方向性を提示することが決定した。

教育委員会（委員長代理 石井理事）

〔事業計画〕

- 平成27年度の予定

講習会	開催日	開催地・実施委員長
-----	-----	-----------

第124回細胞検査士養成講習会	平成27年7月6-18日	東京医学技術専門学校： 東海大学医学部付属病院・ 伊藤 仁
第38回細胞診断学セミナー	平成27年8月6-9日	日本教育会館 教育委員長
第69回細胞検査士教育セミナー	平成27年8月29-30日	日本教育会館： がん研有明病院・古田則行
第70回細胞検査士教育セミナー	平成27年9月5-6日	神戸新聞松方ホール (株)共同病理・小川隆文
第70回細胞検査士ワークショップ	平成27年7月18-19日	東海・北陸ブロック：福井県立病院・水野 幸恵 講義：福井県立病院講堂、 鏡検実習：福井大学医学部基礎実習棟病理実験室
第71回細胞検査士ワークショップ	平成28年3月12-13日	九州ブロック：福岡大学筑紫病院・南部 雅美 福岡大学メディカルホール

〔審議事項〕

1. 受講料の返還について

教育委員会主催の細胞検査士養成講習会，細胞診断学セミナー，検査士教育セミナー，細胞検査士ワークショップについて申込時に支払われた受講料については原則返還しないことが確認された。

渉外・広報委員会（委員長 八重樫伸生）

〔事業計画〕

1. 渉外・広報に係る委員会を開催予定。

〔審議事項〕

特になし

社会保険委員会（委員長 稲山嘉明）

〔事業計画〕

1. 平成28年度診療報酬改正にかかる社会保険委員会開催ならびに厚労省との折衝を行う。
なお、今回の申請について、目下、提案書書式のリリース待ちである。細胞診検体での免疫染色を主とするが、密接にかかわるセルブロック法が明記されていないので、これについてもあわせて申請し、パッケージとして実現させたいと考えている。

〔審議事項〕

特になし

地域連絡委員会（委員長 児玉省二）

〔事業計画〕

1. 平成 24 年度支部活動報，連合会活動報告の再調査と報告.
2. 平成 25 年度地域連携組織活動報告，連合会活動報告の集計と報告.
3. 平成 25 年度細胞診検体(定点観測)に関するアンケートの集計と報告.
4. 全国地域代表者会議は平成 27 年度より春期学会での開催となった.
5. 「子宮の日」の子宮頸がん検診推進活動支援について
平成 27 年度の活動支援について，希望地域は 2 月末日までに企画書の提出を依頼した.

〔審議事項〕

特になし

国際交流委員会（委員長代理 佐藤総務委員長）

〔報告事項〕

1. 2 国間交流
 - 1) 第 13 回日韓細胞診合同会議
開催日：2014 年 11 月 1 日（土曜日）
開催地：江原道
 - 2) 第 22 回日本・タイ細胞診ワークショップ
開催日 2015 年 1 月 14 日（水） - 16 日（金）
開催地：THE EMPRESS HOTELS CHIANG MAI、プーケット島、タイ
 - 3) 第6回日中細胞診合同会議は開催に向けて日程等調整中.
 - 4) 第14回 日-韓細胞診合同会議
開催日：2015年11月7日（土）
開催地：麗水(ヨス) ソウルから高速鉄道で約3時間
 - 5) 第23回 日-タイ 細胞診ワークショップ
開催日：2016年 1月20日（水） - 22日（金）
開催地：チェンライ
2. 国際・アジアフォーラム
 - 1) 第53回日本臨床細胞学会秋期大会（会長 亀井敏昭）
開催日：2014年11月8日(土)- 9日（日）
開催地：下関
国際・アジアフォーラム (Global Asia Forum)
担当；加来委員，南部委員
 - 2) 第56回日本臨床細胞学会春期大会（会長 紀川純三）
開催日：2015年6月12日（土）-14日（日）

開催地：松江

国際・アジアフォーラム (Global Asia Forum)

担当；山口委員，小林委員

3) 第54回日本臨床細胞学会秋期大会 (会長 越川 卓)

開催日：2015年11月21日(土)-22日(日)

開催地：名古屋

国際・アジアフォーラム (Global Asia Forum)

担当；榎本委員

3. IAC 関連

1) 45th Annual Scientific & Business Meeting.

開催日：16-19. October 2015. 開催地：Brisbane

Australian society of cytology (ASC) との交流内容について，Professor Andrew Fieldと交渉中.

2) 39th European Congress of Cytology (ECC)

開催日：23-26. September 2015. 開催地：Milan Italy

Congress President Dr. Luigi Di Bonitoに子宮内膜細胞診，甲状腺細胞診の内容を提案.

〔審議事項〕

特になし

制度審議委員会 (委員長 川本雅司)

〔事業計画〕

1. 会費規程改定の総会承認.

〔審議事項〕

1. 会費規程の改定案 (中途での会員種別変更に関わる規程整備) が資料に沿って提示され，総会での決議事項とすることが承認された.
2. 役員選任に関する施行細則改定案 (理事候補者選挙の投票形式の変化) が資料に沿って提示され，承認された.
3. 研究機関申請の検討事項にある研究に関する施行細則 (研究実施規定) 案を 3 月中に作成することが承認された.

IAC 連絡委員会 (委員長代理 佐藤総務委員長)

〔事業計画〕

1. 2016 年開催の国際学会に向けて，IAC との連絡を密にするため委員会を複数日開催する予定.

〔審議事項〕

1. ACTA Cytologica のインパクトファクターが 2017 年までつかなくなったとの情報があったことが案内され、詳細は長村委員に確認することになった。

第 19 回 IAC 国際細胞学会準備委員会 (委員長 青木大輔)

[事業計画]

1. The 19th International Congress of Cytology (略称: ICC2016) 開催準備
開催時期: 2016 年 (平成 28 年) 5 月 28 日 (土) ~6 月 1 日 (水) (5 日間)
開催場所: パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市)
第 57 回春期大会を併催する(2016 年 5 月 28 日 (土) ~29 (日))。
2. 平成 27 年 3 月 3 日に日本学術会議との共催が認められた。
3. IAC council と主たる海外臨床細胞学会にプログラムの提案をしてもらう。
4. ECC2015(ミラノ)等にて promotion 活動を行う。

[審議事項]

1. 第 56 回 (2015 年) 春期大会 (松江) にてプログラム委員会を開催することが承認された。

日本肺癌学会とのワーキンググループ (委員長代理 佐藤総務委員長)

[事業計画]

1. 喀痰細胞診に関する地域・施設・検鏡者による診断率の差に関する研究
2. 標準的な細胞像のアトラスを作成 (ホームページ掲載の可能性を検討する)

[審議事項]

特になし

泌尿器細胞診の報告様式に関するワーキンググループ (委員長代理 佐藤総務委員長)

[事業計画]

1. 泌尿器細胞診の報告様式に係る意見調整会議を開催予定。

[審議事項]

金城委員長よりワーキンググループの 1 年間の延長の申し入れがあり、継続が承認された。

細胞診ガイドライン作成ワーキンググループ (委員長代理 佐藤総務委員長)

[報告事項]

1. 進捗状況
 - 1) 細胞診ガイドラインは 5 巻とし、臓器/領域を振り分けた
 - 2) 現在、それぞれの臓器/領域ごとに執筆・校正・編集を進めている
 - 3) 第 1 巻・第 2 巻は 3 月末日発刊を予定し、以降順次発刊を予定している
2. 出版情報

細胞診ガイドラインは以下のように臓器／領域を振り分けた

- 1) 第1巻：婦人科・泌尿器／外陰・膣・子宮頸部・子宮体部・卵巣・泌尿器
- 2) 第2巻：乳腺・皮膚・骨軟部
- 3) 第3巻：神経・内分泌／中枢神経・脳脊髄液・眼器・甲状腺・副甲状腺・副腎
- 4) 第4巻：呼吸器・縦隔・体腔液・リンパ節・血液／上気道・呼吸器・縦隔・体腔液・リンパ節・血液
- 5) 第5巻：消化器／口腔・唾液腺・消化管・肝胆道系・膵臓

〔審議事項〕

特になし

口腔細胞診ワーキンググループ（委員長 関根浄治）

〔事業計画〕

1. 口腔細胞診の精度管理（セントラルパソロジーを併せ予定）

〔審議事項〕

特になし

婦人科臨床試験ワーキンググループ（委員長 青木大輔）

〔事業計画〕

1. 「一般住民を対象とした子宮頸がん検診における液状化検体細胞診と HPV DNA 検査との併用法の有用性を評価する前向き無作為化比較研究」CITRUS study（山梨県，千葉県柏市）を引き続き実施する。

〔審議事項〕

1. 「子宮頸癌疑い患者及び検診受診者を対象とした LC-1000 の有用性に関する臨床試験」について
資料に沿って，シスメックス株式会社（本社：神戸）より開発された LC-1000（剥離細胞分析装置：一般医療機器）の有用性の検討についての提案がなされ，シスメックス社からの研究費の提供により日本臨床細胞学会の臨床試験として実施することが承認された。

日本臨床細胞学会雑誌電子ジャーナル化ワーキンググループ（委員長 竹島信宏）

〔事業計画〕

1. 2015年1月号（Vo54-1）から電子ジャーナルとなり，本ワーキンググループは2014年末で終了した。

〔審議事項〕

特になし

頸部細胞診の自動化判定に関する研究班（委員長 森谷卓也）

〔事業計画〕

1. 第56回日本臨床細胞学会総会において、班研究の最終報告を行う。
2. 平成27年度中に成果の英語論文化を目指す。

〔審議事項〕

特になし

施設認定制度の適正運用検討小委員会（委員長代理 佐藤総務委員長）

〔事業計画〕

1. 施設認定制度委員会と協同し、施設認定・教育研修施設認定・各更新業務を補佐する。
2. 昨年に引き続き、新教育研修施設に勤務する専門医に対し教育研修指導医の認定作業を行う。

〔審議事項〕

特になし

細胞診用語解説集作成ワーキンググループ（委員長 竹島信宏）

〔事業計画〕

1. 電子媒体での用語解説集の作成を目指している。
2. 次回春季大会(松江)にて、内容に関する最終調整を行う予定。

〔審議事項〕

特になし

理事候補者選挙管理委員会（委員長 青木大輔）

〔報告事項〕

地方選出理事候補者選挙結果について

地方選出理事候補については、北海道地域、東北地域、中部地域、九州地域では立候補者が定員数であったため、施行細則10条8項に従い無投票当選となり、関東地域、近畿地域、中国・四国地域では立候補者が定員数を越えたため、選挙により理事候補を選出した旨が報告された。平成27年2月27日に開票が行われ、下記の14名が選出され、3名の次点が決定した旨の報告がなされた。

1. 選挙実施地域選出者および次点（上位より掲載）：
 - 1). 関東地域：(当選者) 川本雅司, 小田瑞恵, 長尾俊孝, 平井康夫, 落合和彦
(次点) 久島巳樹
 - 2). 近畿地域：(当選者) 井上健, 小西登 (次点) 小笠原利忠
 - 3). 中国・四国地域：(当選者) 広岡保明, 羽場礼次 (次点) 関根浄治
2. 無選挙地域選出者




- 1). 北海道地域：山城勝重 2). 東北地域：伊藤潔 3). 中部地域：白石泰三
4). 九州地域：横山繁生, 横山正俊

閉会の挨拶：岩坂剛 副理事

以上を以って本理事会の議題が終了し、平成26年度第4回理事会を終了した。

平成27年5月19日

この議事録が正確であることを証します。

理事長	佐々木寛 
監事	柏村正道 
監事	長谷川嘉彦 
監事	長村民之 